

令和 6 年度春季建築物防災週間関連行事
建築物 防 災 講 演 会 (次 第)

日 時 令和 7 年 3 月 3 日(月) 14 時 00 分～16 時 00 分

会 場 建設交流館 8 階 グリーンホール 定員 200 名

1. 挨拶 一般財団法人大阪建築防災センター 理事長 多田 純 治
14:00～
2. 講 演 大阪府都市整備部住宅建築局 建築指導室長 中 迫 悟 志 氏
14:15～16:00 テー マ 「 大地の動きから見た日本列島で発生する地震
(休憩 15 分) — 能登半島、日向灘、そして南海トラフ —
講 師 京都大学 防災研究所
地震災害研究センター 教授 西村 卓也 氏

【 講 演 概 要 】

2024 年は元日に発生した能登半島地震(M7.6)や 8 月 8 日に発生した日向灘の地震 (M7.1) など、大きな災害をもたらした地震や社会的に大きな注目を集める地震が多く発生した年でした。能登半島地震は、2 年ほど前から活発な地震活動が継続して発生していた地域での地震であり、日向灘の地震では、南海トラフ地震臨時情報が初めて発表されました。

我が国では、30 年ほど前から GNSS (全球測位衛星システム) の観測点が整備され、日本列島の地殻変動が詳細にモニタリングできるようになりました。このデータは地震発生メカニズムの解明に大きく貢献しています。本講演では、日本列島の GNSS データの解析から明らかになった地殻変動と地震発生との関係、今後 30 年間に 70～80%の確率で発生すると言われている南海トラフ巨大地震のメカニズムや発生確率の根拠について解説します。

■ 講師プロフィール ■

にしむらたくや
西村 卓也 氏 京都大学防災研究所地震災害研究センター 教授

東北大学大学院理学研究科博士前期課程修了後、1997 年建設省 (現、国土交通省) 国土地理院に入省。同院地理地殻活動研究センター研究員、主任研究官などを歴任し、2013 年より京都大学防災研究所准教授、2023 年より現職。博士 (理学)。学生時代より一貫して GNSS データなどを用いた地殻変動の解析により、地震発生メカニズムの研究を行う。現在、政府の地震調査委員会、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会の委員を務める。北海道出身。

主 催 一般財団法人大阪建築防災センター

後 援 大阪府 大阪市 豊中市 堺 市 東大阪市 吹田市 高槻市 守口市 枚方市
八尾市 寝屋川市 茨木市 岸和田市 箕面市 門真市 池田市 和泉市 羽曳野市

協 賛 建築物防災推進協議会